

平成27年度 第1回教育研修委員会 議事要旨

日時:2015年4月18日(土)7:00～8:00

場所:福岡国際会議場 4階 407

出席者:竹下 克志(担当理事)、大川 淳(委員長)、星地 亜都司、松山 幸弘、矢吹 省司、
伊藤 康夫、宮腰 尚久、高相 晶士、村上 英樹、米 和徳(アドバイザー)

(以上、10名)

コングレ 恩田 南、黄 智絵

欠席者:内田 研造、出沢 明(アドバイザー)(以上、2名)

報告事項

1. 第13回研修コースについて

- ・ 共催セミナーの場合は、企画段階から企業と相談するスタンスを取る必要があるため、14回は早目に企画案を出すようにする。
- ・ 第13回研修コースの実行予算案が運営事務局(コングレ)より説明され、承認された。参加者数が例年を上回り、収入が過去最大となった。
- ・ 運営事務局(コングレ)より、4月17日時点での参加者申込者数は、コース150名、コース75名、コース40名と報告された。

審議事項

1. 第14回研修コースについて

- ・ 運営事務局(コングレ)より、フロアプラン案と開催概要案が説明された。
- ・ フロアプラン案については下記の説明がされた。
各コースの講義会場については45回学術集會会場内にて完結する。の実技会場については、A案:45回学術集會会場の幕張メッセで完結させる場合と、B案:東京ベイ幕張ホールにて行う場合と、C案:ホテルニューオータニ幕張にて行う場合と、D案:幕張国際研修センターにて行う場合である。
- ・ 大川委員長より、幕張国際研修センターは学術集會の会場から離れているため、非現実的だと説明があった。B案、C案については、会場費が高くなってしまったため、A案の方針で進めることとする。次回委員会にて確定させる。

2. 今後の研修コースのあり方

- ・ 竹下担当理事、大川委員長より、協賛、寄付について、企業からの集まりが年々難しくなってきたので、今後は研修コース単体の予算ではなく、学術集會の一部として予算に組み込むよう理事会へ提案していることが説明された。
- ・ 予算を学術集會に組み入れるには、45回は既に予算が提出されているため、46回学術集會からとなる。理事会でメール審議していただく。
- ・ 今後は研修コースの会場も合わせて、学術集會本体が予約する方がよいという提案があった。
- ・ 大川委員長より、コースの機材が、無償提供であることが今後問題となってくる可能性が説明された。破損した際の保険加入や機材のレンタル代を企業へ支払うことについて、次回の審議事項とする。

3. クリニカルフェローについて

- ・ 2016年3月で研修指定病院の更新があるので、案を出す必要がある。引き続き同じ基準を適用することを提案する。

4. 次回、委員会開催日程について

- ・ 次回委員会については、第88回日本整形外科学会前日の2015年5月20日(水)、神戸ポートピアホテルでの開催とする。
- ・ 次回の審議は、コースマネージの正式決定と企画概案の提示となる。コースマネージ候補は、コースは引き続き西良先生とし、コースは宮腰先生、村上先生が挙げられた。
- ・

以上